

事業所名

YOUKIチャイルドアカデミー道上

支援プログラム

作成日

2025年

2月

20日

法人（事業所）理念	はぐくまれるべき子ども達、高齢・障がいにより介護を必要とする方、自分らしく働くことのできる場所を探している方。そして、そんな方々を支えている家族や支えることを仕事にしている方。そんなすべての人たちの、自己実現のさまたげになる問題を解決し続けていくことで、誰もが自分の意思で決めたことに挑戦できる地域社会をめざします。		
支援方針	ひとりひとりのペースに合わせた関わりをすることにより、できることを増やしたり、活かせる長所を伸ばしていけるように支援を行っています。		
営業時間	平日：10：00～19：00 土祝・長期休み：8：15～17：15	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	クッキングやおやつ作りでは、調理道具の安全な使い方を理解したり、バランスや栄養を学んだりしながら、「楽しい食事」を意識できるようになる。 来所ルーティンやロッカーなどの周辺整理、片付けができるようになる。 次のプログラムに、切り替えて取り組めるように、視覚、聴覚に働きかけ、見通しを立てて構造化したスケジュール表で切り替えを行う。	
	運動・感覚	フィットネスやダンス、公園遊びで、全身を使った動きをスムーズに行い、一定の姿勢を保持したり体幹やバランスを保つことができるように支援する。 クッキングやおやつ作りでは、自分で調理することで嫌いなもののイメージが変わったり、調理方法を変えて偏食にアプローチしたりする。 ミュージックケアを通して、音楽に合わせた身体運動、歌唱、楽器演奏を行い、周りと合わせて表現する喜びを味わう。 工作道具や運動器具を扱うことに慣れ、適切に使用できるようになる。	
	認知・行動	レクリエーションにビジョントレーニングを積極的に取り入れ、眼球運動や視空間認知の能力を養い、自分と対象物との距離を適切に捉えることができるように支援する。 工作やスケッチ、アートセラピー等で、表現する喜びを感じたり言葉で説明したりする練習を行う。 テーマを基に話を進めていく活動の中で他者の意見を聞く、自分の意見を伝えることができ、さらに意見を変化させることができる練習をする。 SSTで複数の選択肢の中から場に合った行動を選ぶことができる。	
	言語 コミュニケーション	「英語であそぼう」で様々な角度から活動を展開し、身近なものを英語で表現できる場を設け、英語に慣れ親しむ。 自分の思いや感じたことについて言葉にしたり紙に書いてまとめたりする事に慣れる練習や意識づけを行う。 場面に合ったコミュニケーションを促し、表出できるようにする。スタッフとの会話から5w1Hを入れた基本的能力の向上を目指します。 自分で考えて行動する力や自分の気持ちを相手に伝える力を身につける。	
	人間関係 社会性	レクリエーションにグループワークを取り入れ、自己の役割を果たし意見を伝えることや他者と協力して共通の課題に取り組むことの経験を通して、社会的スキルの育成に繋げる。 ルールが設定されている背景や意図を読み取り、他児童との関わりに意識を向けていく機会を設ける。また、ルールを理解し守って過ごすことができる。 遊び等を通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促していく環境調整や関わりを実践する。 自分の長所や短所を考え自分への理解を深めることで他者とのコミュニケーションに活かすことができる。	
家族支援	送迎時や面談時（年2回）に、学校や家庭の様子や、子育てに関する困りごとに対する相談援助を行う。家族会を開催し、家族同士の情報交流の場を作る。家庭でできる対応方法などを提案・助言する。	移行支援	学校や事業所での様子や対応方法等についての共有を図り、将来像に合わせた一貫した対応を行うことができるようにする。自立に向け関係機関と連携を行い、発育ステージに合わせた情報をお伝える。
地域支援・地域連携	各関係機関との情報共有に基づき、具体的な場面を想定した上で、児童への関わり方を具体的に提案・助言する。	職員の質の向上	毎日のミーティング、ケース会議・月案会議などで共通意識を持つ。個別教育計画の実施。外部講演会や各種勉強会、研修への参加。支援方法、支援方針についての内部研修や情報共有を行う。
主な行事等	家族会、避難訓練、社会見学、餅つき大会、夏祭り、季節の行事（クリスマス、ハロウィン、お花見、節分など）、飯盒炊さん		